

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等		—	
事業毎の通番		6		市町村名		天龍村	
事業目的		観音沢は、明治38年に村道天竜川線横の村指定有形民俗文化財の三十三所観音像が流出するなど過去何度も土砂災害の被害が発生し崩壊土砂流出危険地区に指定された溪流である。平成25年台風18号により山腹崩壊・土石流が発生し、村道天竜左岸線埋没・村道天竜川線横の三十三所観音及び村指定無形民俗文化財の百万遍会場に土砂流入被害が発生した。土石流発生源の山腹崩壊及び溪流内に不安定土砂が残る今後の降雨等により再度の土砂災害の発生の恐れが高いことから、谷止工及び山腹工を実施し災害発生の防止を図る。		箇所名(ふりがな)		観音沢(かんのんさわ)	
事業概要		しあわせ信州創造プランにおける位置付け		事業実施の根拠法令等		森林法	
関連する事業、計画等		4-1地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等		森林法	
保全対象・範囲 受益対象・範囲		人家3戸、村道天竜川線、村道天竜左岸線、村上水道施設		事業実施の根拠法令等		森林法	
着手年度		平成27年度		事業期間		3年間	
完成年度(見込み)		平成29年度		事業費(千円)		141,050	
全体事業内容(主な工種)		谷止工3個 山腹工0.16ha 土留工3個		費用対効果		2.7	
年度事業内容(主な工種)				国庫		70,525	
事業効果		直接的効果(定量的・定性的)		その他		63,472	
		人家3戸、村道天竜川線、村道天竜左岸線、村上水道施設の保全		県債		0	
		間接的効果(定量的・定性的)		一般財源		7,053	
				0		0	
必要性		○人家戸数:		3戸		評価	
		○公共施設数:		3箇所 村道天竜川線・村道天竜左岸線・村上水道施設		B	
		○災害時要援護者関連施設の有無:		なし			
		○保安林・林業用施設:		100% (保安林指定申請中)			
重要性		○過去の災害履歴:		あり 平成25年台風18号災		評価	
		○交通遮断による地域経済への影響:		村道天竜川線・村道天竜左岸線		A	
		○地域防災計画上の位置付け:		あり			
効率性		○費用便益比(B/C):		2.67		評価	
		○事業期間:		3箇年		A	
		○工法等の比較検討:		谷止工設置位置・山腹工工種検討			
		○流域の総合調整:		道路・河川管理者の村と調整済			
緊急性		○流域の地形、地質:		領家帯変成岩		評価	
		○平均渓床勾配(平均山腹勾配):		21°		A	
		○下流の堰堤等の整備状況:		なし			
		○山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域:		山地災害危険地区B			
計画熟度		○事業情報の共有:		関係者を中心に周知		評価	
		○地域の取り組み:		地元地区・村より要望あり		B	
		○地域の合意形成:		概ね合意			
		○住民との協働:		なし			
部意見		H25台風18号により被災した村道への土砂災害を防止するため、対策工を実施する必要がある。		行政改革課意見		今後の降雨等で拡大崩壊、安定土砂の再移動が想定され、保全対象に再被害をもたらす恐れがあるため、重要性、緊急性が認められる。	
				評価結果		総合評価	
				○		B	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図

平面図

他所管施設(水道・村)

村道:天竜左岸線

天竜川

中井侍駅

計画谷止工3基

計画山腹工0.23ha

林道:中井侍線

【整備の必要性がわかる状況写真等】

村道天竜左岸線被災状況(H25.9.17撮影)

谷止工・山腹工計画地状況

山腹工計画地状況

谷止工計画地状況

村道天竜川線・三十三所観音・百万遍実施会場被災状況

事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景

観音沢は、明治38年に村道天竜川線横の村指定有形民俗文化財の三十三所観音像が流出するなど過去何度も土砂災害が発生した溪流である。平成25年台風18号により山腹崩壊・土石流が発生し、村道天竜左岸線埋没・村道天竜川線横の三十三所観音及び村指定無形民俗文化財の百万遍会場に土砂流入被害が発生した。

②地域からの要望経緯及び地域の関わり

地域住民から対策を求める要望があり、平成25年9月17日、10月10日、平成26年3月3日に天龍村と現地調査を実施
平成26年7月31日に対策工現地検討を行い天龍村・地権者に対策工概要説明

③事業説明等の経緯

平成26年7月31日現地対策工検討時に天龍村役場・地権者に対策工概要説明、保安林指定について説明
事業実施確定時及び対策工決定時に天龍村・地元関係者・地権者に説明実施予定

④他事業・プロジェクトとの整合、関連

道路・河川・水道施設管理者である天龍村と調整済み

⑤自然環境・生活環境への影響と配慮

工事に伴う地形変化を極力少なくすると共に、長野県産間伐材を極力使用する

⑥地域活性化への影響と配慮

保全対象には村指定無形民俗文化財の百万遍会場があり、土砂災害による地元住民の不安等を軽減する

⑦その他

事業代表地点の緯度経度

北緯:N 35-14-07
東経:E 137-50-32